



— 梅毒について —

✿梅毒とは

梅毒は、梅毒トレポネーマという病原体が原因の感染症で、主に性的接触により感染します。2010年以降、全国的に報告数は増加し続けており、男性は20～40代、女性は20代で報告が多い状況です。推定感染経路は、男女ともに異性間性的接触が多くなっています。不特定の人と性交渉を行うことがリスクを高めます。また梅毒は、一度完治しても生涯にわたる免疫（終生免疫）は得られず、予防しなければ再び感染します。性交渉の際にはコンドームを適切に使用することが大切ですが、コンドームで覆わない部分で感染が起こることもあるため、完全に予防できると過信しないで下さい。皮膚や粘膜に異常がある場合は性的接触を控え、医療機関を受診して下さい。

✿一番初めに現れる症状（感染後およそ3週間後）

梅毒は、感染後3～6週間の潜伏期を経て、様々な症状が順次出現しますが、初期症状として、感染部位（陰部、口唇部、肛門など）に、しこりができることがあります。また股の付け根の部分（鼠径部）のリンパ節が腫れることもあります。感染する部位は、性器だけではありません。オーラルセックスでは、口内に、アナルセックスでは肛門や直腸に感染します。

これらの症状がみられた場合は、必ず検査を受けるようにして下さい。また症状は、一旦消失しますが、病原体は体内におり、血液により全身へ運ばれ、その後全身に症状が現れるようになります。

✿先天梅毒

梅毒に感染している妊婦から胎児に感染する多臓器感染症のことを先天梅毒といいます。胎児が梅毒に感染することで、死産や早産、奇形などを引き起こす原因となります。近年、先天梅毒の報告は多くなっています。

✿奈良県の状況

奈良県も全国同様に梅毒患者の報告は増加しています。今年の男性患者報告数は、過去10年で最も多くなっています（右図：過去10年の男女別報告数）。これまで先天梅毒の報告はありませんが、男女ともに親となる年齢層からの報告が多いため注意が必要です。

✿さいごに

梅毒は、早期発見・早期治療により完治できる疾患です。気になる症状、疑う気持ちがある場合には、パートナーと一緒に必ず検査を受けるようにして下さい。

